

振興計画が策定されたが、整合性のある22年度予算編成の大枠の考え方と取組みについて伺う。

答 「都市と自然が調和した安心・安全で活力のあるまち」の実現を目指し、重要施策への積極的、かつ重点的な財源配分を図るため、歳入について財源確保に最大限努力する一方、歳出については既存の事務事業を含めて改めてゼロベースの視点に立ち、その費用対効果の徹底的な見直しを行います。

その中で、産業分野では、圏央道インターチェンジ周辺整備を最優先し、教育分野では、教育施設の耐震化事業を実施し、福祉分野では、子ども医療費の支給対象の拡大を検討しています。

高崎清治議員
県立高校の後期整備計画について

問 幸手高校、幸手商

業高校の統廃合、定時制の廃止についての対応は、要望書を提出して終了し、今後の取組みはないのか伺う。

また、両校における市内中学生の入学状況について、市内中学生の卒業後、入学可能な保障はあるのか伺う。

答 両校は、同窓生、保護者等が市内に多く在住し、長く市民に親しまれていることから、県立高校の後期再編整備計画の今後の動向を見ずえながら、よりよい再編が進められるよう、必要に応じて、県に働きかけます。

両校は、市内中学生の卒業後進路先として、大きな存在ですが、高校には入学選抜試験があることから、市内からの入学等について予測することは不可能と考えます。県の再編計画では、新たな商業系総合学科高校の募集定員を増やす予定があると聞いています。

枝久保喜八郎議員
日本保健医療大学について

問 この10月末、幸手

市の誘致に応える形で、設置申請をしていた日本保健医療大学に対して、文部科学省より事業認可が為されました。今年度同省が認可した。新設大学は全国でこの日本保健医療大学ただ一校だったそうです。全国的に医師および看護師不足が問われている折、この正看護四年生大学が幸手に誕生することは素晴らしい成果であることは間違いありません。この大学開学が幸手に与える意義および市民が共有できる期待感にはどういったことがあげられるか伺う。

答 市は、大学の開学に伴い、次のような効果を期待しています。

- ① 就学機会の確保
 - ② 若年層の定着による地域の活性化
 - ③ 地域に根ざした人材の育成・供給
 - ④ 都市機能の充実
 - ⑤ 行政への頭脳参加
 - ⑥ 就業機会の拡大
 - ⑦ 新しい文化の創造
 - ⑧ 生涯学習の振興などへの効果、さらに、間接的には、経済的効果や地方交付税の増額も考えられます。
- 大学開学は、地域の保健・医療分野の人材育成、教育・文化面での価値向上や地域の活性化などに大きな効果が期待出来る、意義のあるものです。



開設予定の日本保健医療大学

12月定例議会の傍聴者

121人の方が傍聴されました。

3月定例議会のお知らせ

2月22日開会予定です。
詳しくはホームページをご覧ください。

次回の日程について、傍聴者数について